

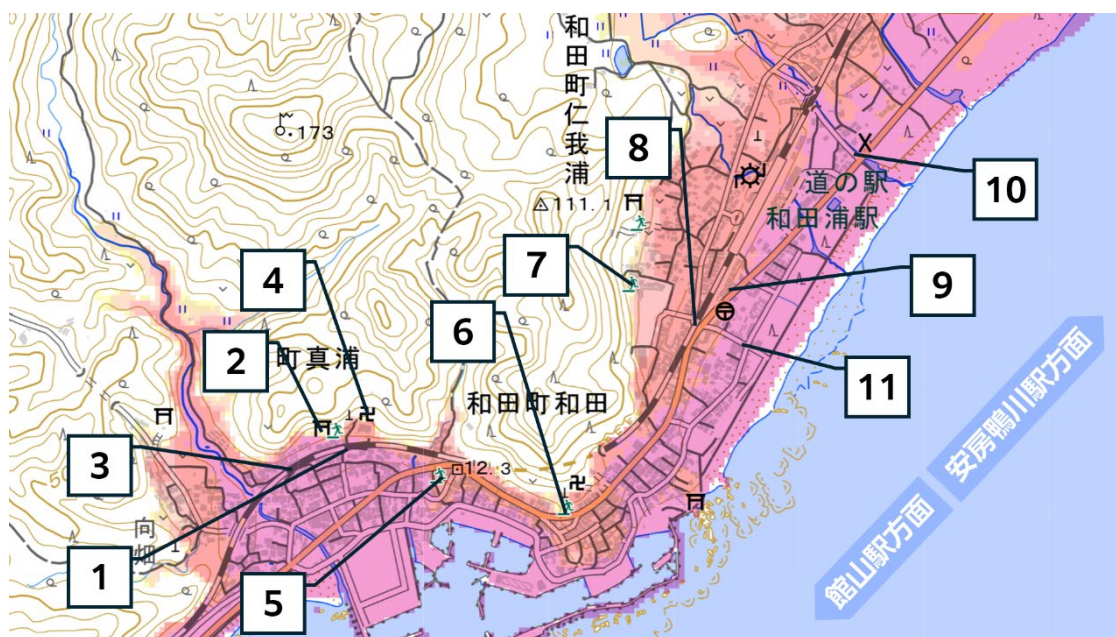
鉄道線路が津波避難に及ぼす影響 －千葉県南房総市の事例から－

2231043 北見隼人（館林牧子ゼミ）

要約

近年、鉄道線路が津波発生時の避難の阻害要因になるのではないかとという研究に注目が集まっている。南海トラフ地震による津波で大きな被害が想定されている和歌山県で、「鉄道線路が津波避難に及ぼす影響に関する研究」という研究が行われていることを知り、千葉県でも線路が津波避難の阻害要因になっているのではないかとこの仮説を立て、調査を行った。

千葉県が公表している最大規模の津波浸水想定を確認したところ、千葉県内の15市3町1村で、線路を越えた津波の襲来が想定されていることがわかった。さらに、同上の想定で津波の高さが最大となる千葉県南房総市でのフィールドワークや防災担当部署、住民への聞き取り調査、鉄道会社へのアンケート調査などを通して、津波発生時にどのような影響が懸念されるのか考察した。



資料 フィールドワーク調査対象区域図（「重ねるハザードマップ」に筆者が加筆して作成）

調査の結果、千葉県においても鉄道線路が津波避難の阻害要因となっていることがわかった。自治体では、対策の必要性を認識しているものの、実効性のある対策は行われていなかった。